

特別経費事業

附属学校園を活用した新たな学校教育制度設計に係る調査研究

— 高度専門的研究力を持つ教員養成・現職研修システムの構築と幼小接続期の新学校制度開発 —

午前の部: テーマ別研究報告

9:30-10:45 相互交流型の授業・保育づくり/算数・数学

11:00-12:15 幼小接続期研究/社会的ジレンマの理論・実践研究/  
自主研究

9:30-12:15 小中高教員のICT活用/表現を広め、深める/理科

午後の部: 全体会・シンポジウム 13:30-16:00 大学本館306教室

テーマ 探究力・活用力を育てるために

「批判的思考力を育む: 探究と協力に向けて」楠見 孝(京都大学大学院)

「中学生向け批判的思考力の育成: 実践教育と獲得プロセス」

池田 まさみ(十文字学園女子大学)

司会・コメント 菅原 ますみ(本学大学院)

お茶の水女子大学 附属学校園

探究力・活用力育成テーマ別研究

# 中間成果報告会

お茶の水女子大学は2010年度から特別経費事業「附属学校園を活用した新たな学校教育制度設計に係る調査研究」に採択され、探究力・活用力の育成をテーマにした大学と附属幼稚園、附属小学校、附属中学校、附属高校の教員による連携研究をすすめてまいりました。今回は6年間の研究の中間地点での成果をご報告いたします。教員、研究者、教員を目指す学生の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

2012年8月22日(水) 9:00 受付開始

場所 お茶の水女子大学〔受付: 大学本館1階正面入口〕

研究発表会場は大学本館を主に使用

参加費: 無料 事前申込み: 当日参加可

※中間報告会案内サイト (<http://www.ft.ocha.ac.jp/goinfo/> 「附属中学校」HPから入れます) で事前申込みができます。当日参加も可能ですが、準備の都合上申込みをいただけずと助かります。

主催 お茶の水女子大学 学校教育研究部

問合せ お茶の水女子大学 学校教育研究部

〒112-8610 文京区大塚2-1-1 tel 03-5978-2704

[info-gakko@cc.ocha.ac.jp](mailto:info-gakko@cc.ocha.ac.jp)

ホームページ <http://www.cf.ocha.ac.jp/sesd/index.html>

# お茶の水女子大学 附属学校園

## 探究力・活用力育成テーマ別研究 中間成果報告会プログラム

午前：研究発表 9:30-12:15

### 各研究部会の研究テーマと報告時間・会場

#### 〔小中高教員のICT活用 9:30-12:15 於：大学本館〕

今年度は、タブレットPCや電子書籍等を活用した授業・校務の向上を中心に、生徒のみならず教員自身のICT活用能力向上を探究しています。昨年度までは、中高が連携した情報教育のための調査・実践や、フューチャースクール推進事業の実施校視察等を試みてきました。今回は、これらの活動報告とあわせ、実際にタブレット端末等を使用体験し、各教科の授業活用アイデアや機種を選定・要件を議論できる、ワークショップを実施する予定です。

#### 〔表現を広め、深める 9:30-12:15 於：大学体育館ダンス室〕

「声のワークショップ」「ガムラン音楽」「バリ舞踊」「映像表現」の4つのワークショップを開設し、身体性を発揮した活動を通して体感しながら、参会者と共に、「表現」に対する捉え方を交流し合うことを計画しています。

#### 〔理科 9:30-12:15 於：附属高校物理室〕

理科部会では「理科における探究力を育む指導法の開発」をテーマにして、探究力をはぐむような指導法を探っています。今回の報告会では、口頭による報告の他、実際の授業形式でワークショップを展開します。

#### 〔算数・数学 9:30-10:45 於：大学本館〕

「関数」を中心にテーマを設定し、小・中・高・大の各学習段階においてどのような指導困難点があるのかを、調査や具体的な事例をいくつか提示しつつ、段階ごとに報告します。それらをもとに実践例や解決策などについて意見交換を行う予定です。

#### 〔相互交流型の授業・保育づくり 9:30-10:45 於：大学本館〕

社会とともに変化してきている国語・ことばの学力観。子どもの育ちに関わることばの働きに着目し、発達段階と学校間の接続を意識した保育・授業実践を求めて研究してきました。実践を通して見えてきた相互交流能力の実践について考えていきます。

#### 〔自主研究 11:00-12:15 於：大学本館〕

“主体的な学びを通して、論理的思考力、探究力を高めることをめざす”一人一人が課題を設定して追究し、発表しあう学習は、生涯にわたる学習につながるものです。附属中学校が昨年度まで研究開発学校として取り組んできた内容の報告や、小学校と中学校の連携、大学と附属との連携による「学び合いの場」を紹介します。

#### 〔幼小接続期研究 11:00-12:15 於：大学本館〕

幼児期の教育から小学校教育への移行は国内外を問わず教育改革の大きな課題である。本附属では早くから「幼・小接続期」を設定し、子どもの実態に即して接続期カリキュラムの検討を重ねてきた。新たに整備した幼小共通の遊び空間、小学校入門期の新たな試みなどの事例から、この時期の教育についての協議をすすめる。

#### 〔社会的ジレンマの理論・実践研究 11:00-12:15 於：大学本館〕

様々な価値観が共存する民主主義社会では、自分の利益と他者・みんなの利益は、必ずしも一致せず、ジレンマを感じるのである。だからこそ、子ども自身が、他者の視点を批判的に受け止めながら、どのような価値観を優先するべきかを、広い視野から考える実践を創造していきたい。

午後：全体会・シンポジウム 13:30-16:00 本館306

### 探究力・活用力を育てるために－批判的思考力から考える－

報告1「批判的思考力を育む：探究と協力に向けて」楠見 孝（京都大学大学院 教授）

報告2「中学生向け批判的思考力の育成：実践教育と獲得プロセス」

池田 まさみ（十文字学園女子大学 准教授）

司会・コメント 菅原 ますみ（本学大学院 教授）

登壇される楠見先生によれば、情報を鵜呑みしないで判断する批判的思考力は、日常生活の実践を支える能力であり、学習や学問をおこなう基礎となる能力となります。当日は、批判的思考力を育成するために、批判的思考がどのように獲得されるのか、そしてその評価について、楠見先生、池田先生から実証データにもとづいた報告をしていただくことになっています。